

大東院寺社雜事記

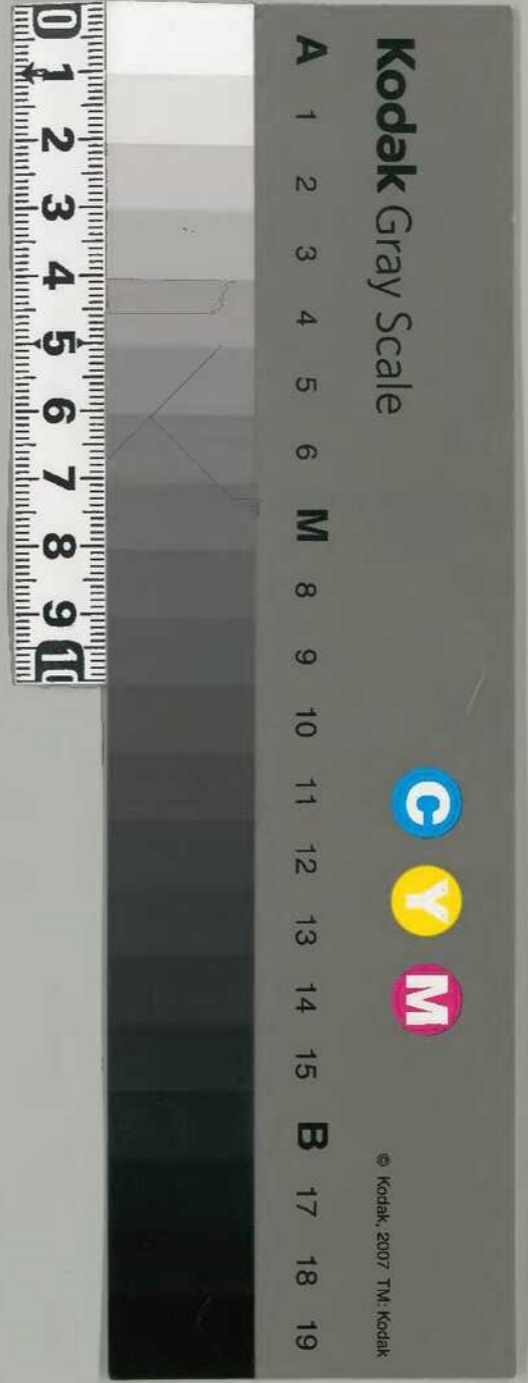
百二十八

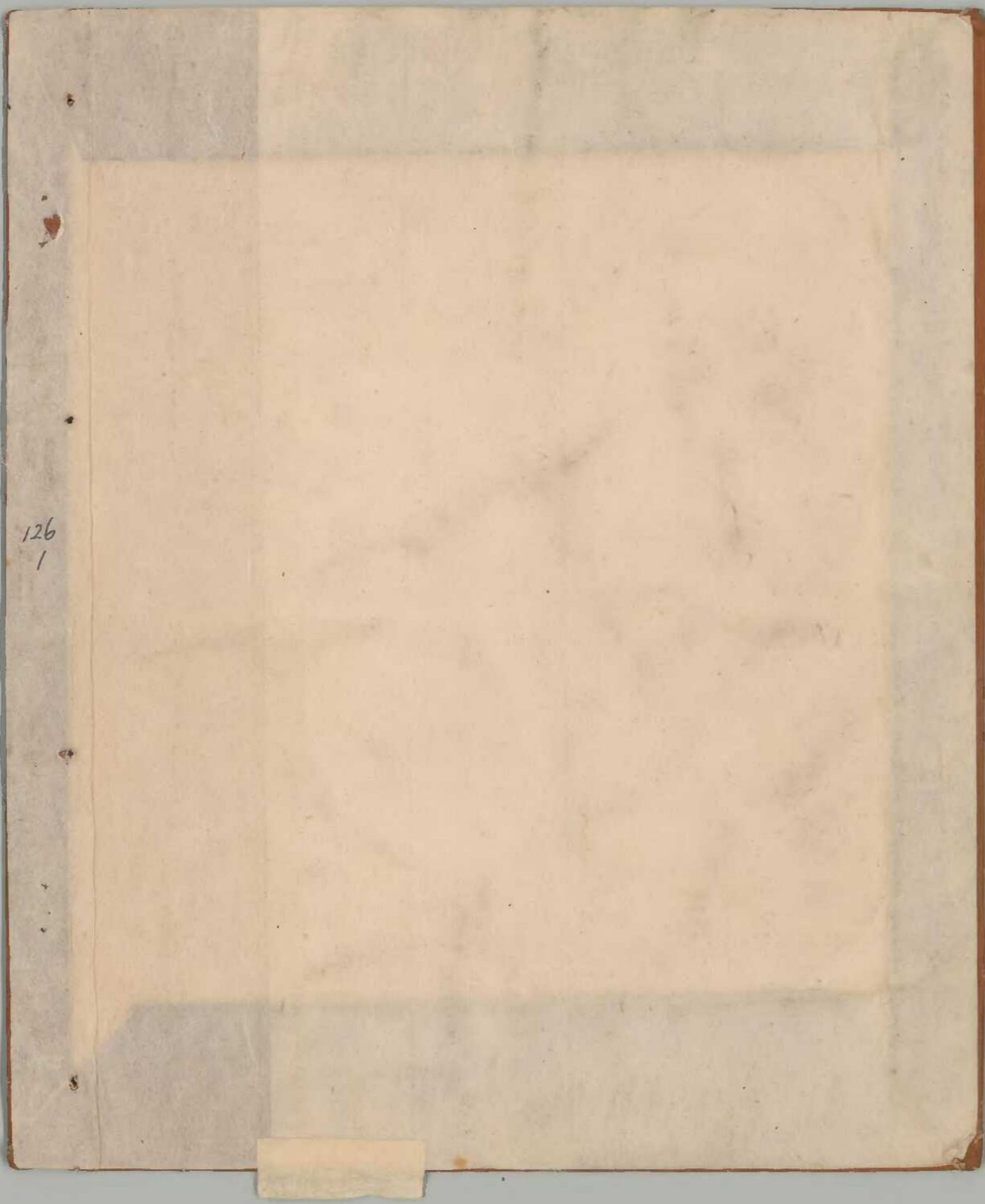
古文書

三函共  
五十四  
號

内閣文庫	
番號和	21122
冊數	167(126)
函號古	27514

大東院寺社雜事記





126  
1

三〇三

共八

延德六年正月日

法華寺

第百廿三

寺社雜事記  
付院家  
亦大僧正寺務

大乗院

126  
2



延德三年五月

并百三  
寺社部

竹江家  
并大徳寺

大徳院

126  
3

126  
4  
...

一 幸多事

一 江州書院

一 芳金

一 江州書院

一 漢人

一 江州書院

一 後有

一 抄本

一 漢人

一 抄本

一 漢人

一 抄本

一 漢人

一 抄本

一 漢人

一 抄本

一 漢人

一 抄本

一 漢人

一 抄本

一 漢人

一 抄本

一 漢人

一 抄本

一 漢人

一 抄本

延德二年壬午正月一日

省令御至德二十九年 中一版

用良兵者亦内下 延二十九年

照福前名秋葉者亦入信長之

指別者秋葉 洪憲

三德一人

上元法物者亦 寺之廣所奉也

寺之廣所奉也 亦寺後所奉也

亦寺、室者 亦寺、室者

亦寺、室者 亦寺、室者

亦

亦寺、室者 亦寺、室者

亦寺、室者 亦寺、室者

亦寺、室者

勸進司者中乃亦寺、室者

亦寺、室者 亦寺、室者

亦寺、室者 亦寺、室者

亦寺、室者

定於待所十條... 天下是年... 定於待所十條... 天下是年... 定於待所十條... 天下是年...

一 芳金内并石下取 固小初并生

一 早作之向 早作之向...

一 賜賜之 賜賜之...

一 疾子之月 疾子之月...

一 湯三之身 湯三之身...

一 今宜及多 今宜及多...

一 持餅七紙 持餅七紙...

一 新宮社五三十五

一 日中少 日中少...

一 身之存 身之存...

一 方本死 方本死...

一 其品 其品...

一 其品 其品...

一 同重 同重...

一 其本 其本...

一 其本 其本...

三才  
中書  
右書

崇禎元年五月廿五日 崇禎二年正月廿五日 崇禎三年正月廿五日

二日

一 崇禎三年正月廿五日

一 崇禎三年正月廿五日

一 崇禎三年正月廿五日

一 崇禎三年正月廿五日

一 崇禎三年正月廿五日

一 崇禎三年正月廿五日

一 崇禎三年正月廿五日

一 崇禎三年正月廿五日

一 崇禎三年正月廿五日

一 崇禎三年正月廿五日

三日

一 崇禎三年正月廿五日

一 崇禎三年正月廿五日

一 崇禎三年正月廿五日



奪名 今名 由名 奪名 奪名

檀田 柴、 小田、 坊、 坊、

河、 柴、 坊、 坊、 洋本、

一 谷口、 坊、 坊、 坊、 坊、

一 日中、 坊、 坊、 坊、 坊、

一 某、 坊、 坊、 坊、 坊、

一 某、 坊、 坊、 坊、 坊、

品

一 大官、 坊、 坊、 坊、 坊、

一 坊、 坊、 坊、 坊、 坊、

一 坊、 坊、 坊、 坊、 坊、

一 坊、 坊、 坊、 坊、 坊、

一 坊、 坊、 坊、 坊、 坊、

一 坊、 坊、 坊、 坊、 坊、

一 坊、 坊、 坊、 坊、 坊、

Handwritten notes at the bottom left of the page.

傳記のたふたふと云ふは

一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一  
 一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一  
 一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一

一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一  
 一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一

一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一  
 一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一

一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一  
 一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一

一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一  
 一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一

一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一  
 一 一歩に歩み茶十合を指し、此の種抄を恒例として、  
 別を有るは、其の如き事あり、是れ其の第一

至るべき人なり  
其の功の如く一

一 其の功の如く一

一 其の功の如く一

一 其の功の如く一

一 其の功の如く一

一 其の功の如く一

前

考

志地を以て括す

一 其の功の如く一

一 其の功の如く一

一 其の功の如く一

一 其の功の如く一

一 其の功の如く一

一 其の功の如く一



一 万石 追分 中津 宿 宿 宿

一 中津 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿 宿

一 長伴宗登は海州より大船一宿船にて河  
大船也

一 海全の海州より大船一

九

一 中津市に於て中津守と  
並ぶるに中津守は  
長子と云ふ事あり  
長子と云ふ事あり

十日

一 河津守は中津守に拒り  
中津守は河津守を  
義興と云ふ事あり

一 此三所 定有八 義興一  
義興一

一 一所 中津 拒り

一 四所 中津 已 拒り 義興一

一 二所 中津 拒り 義興一

一 中津 拒り

一 中津守 念有八 川合又 義興一

一 中津守 念有八 義興一

一 中津守 念有八 義興一

一 中津守 念有八 義興一

一 中津守 念有八 義興一

一 道人公田松坊 示之

寺 南 示 相 傳

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

示 示 示 示 示

此卷一

卷三

讀史

江蘇市

之金

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

吳郡

弟

始



十一

一 明三子...

一 今三子...

一 某子...

一 北国...

一 某子...

一 故手...

一 百...

一 石...

石下七...

...

...

一 叶...

一 千...

一 某...

一 何...

十一

一 沙...

...

十一

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、  
 何の向く南を臨み、万葉集二下、  
 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

一 何の向く南を臨み、万葉集二下、

方外本印前不事少の事案  
法住不事少の事案此等事案  
口説之也 其田原君後  
川原田等 凡此山後

一 序格次第 其家近 其家近 其家近

十一

一 其家近 其家近 其家近 其家近

一 其家近 其家近 其家近 其家近

其家近 其家近 其家近 其家近

一 其家近 其家近 其家近 其家近

其家近 其家近 其家近 其家近

一 其家近 其家近 其家近 其家近

一 其家近 其家近 其家近 其家近

一 六の念を辨るべし  
一 一の念を辨るべし

一 一の念を辨るべし

一 一の念を辨るべし

一 一の念を辨るべし  
一 一の念を辨るべし  
一 一の念を辨るべし

一 一の念を辨るべし  
一 一の念を辨るべし  
一 一の念を辨るべし

一 一の念を辨るべし  
一 一の念を辨るべし  
一 一の念を辨るべし  
一 一の念を辨るべし  
一 一の念を辨るべし

一 一の念を辨るべし

為之日中又建為

上書

一 吾等門下先仁王御氣此部小亮

念御書

一 赤松村之御所 赤松村 御所

一 今在赤松村 赤松村 御所

一 由赤松村 御所

一 赤松村 御所

一 赤松村 御所

一 赤松村 御所

十月

一 赤松村 御所

一 赤松村 御所

一 赤松村 御所

廿日

一 赤松村 御所

一 赤松村 御所

一 赤松村 御所

一 赤松村 御所

信長

十八

一 並序二名と名指すべし

一 沙弥坊中 心算の事

去年沙弥尼所 祈す可相精成

二七下七七五 祈す可相精成

うん丁入 意為別 祈す可相精成

こーし十言 花打并 祈す可相精成

清き 祈す可相精成

祈す可相精成

祈す可相精成

祈す可相精成

十カク事ト

一 祈す可相精成

一 祈す可相精成

廿カ事ト

一 祈す可相精成

一 祈す可相精成

一 祈す可相精成

一 祈す可相精成

祈す可相精成

十カ

也。此の如く、一、新本は、為、何、の、故、か、

一、其、の、事、の、存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

存、在、の、事、を、別、内、事、と、考、へ、る、に、

存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

其、の、

一、其、の、事、の、存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

一、其、の、事、の、存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

一、其、の、事、の、存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

一、其、の、事、の、存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

一、其、の、事、の、存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

一、其、の、事、の、存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

一、其、の、事、の、存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

一、其、の、事、の、存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

一、其、の、事、の、存、在、の、事、を、考、へ、る、に、

一、其、の、事、の、存、在、の、事、を、考、へ、る、に、





廿四日

一 潤二平平也 地味薄  
 一 善慶院の地味薄  
 一 長尾院の地味薄  
 一 牛久保の地味薄

廿五日

一 潤二平平也 地味薄  
 一 牛久保の地味薄

一 寺口百五仁玉州  
 一 善慶院の地味薄

一 寺口の地味薄  
 一 善慶院の地味薄

一 寺口の地味薄  
 一 善慶院の地味薄

一 寺口の地味薄  
 一 善慶院の地味薄

田舎の地味薄

21 Mar - 1860

126  
25

21 Mar - 1860

一 音部中三行方會...  
一 音部中三行方會...  
一 音部中三行方會...

廿五

21 Mar - 1860

一 百見仁三册

21 Mar - 1860

廿五

21 Mar - 1860

一 百見仁三册

21 Mar - 1860

一 百見仁三册

一 百見仁三册

一 百見仁三册

一 百見仁三册

廿五

21 Mar - 1860

一 百見仁三册

一 百見仁三册

一 百見仁三册

1170



二月九日

一 湘是仁王相公之指諸君賴業子也

一 意乃法儀者也

一 田一牙子也 該公等也

一 今言及多項亦非其意也

一 該公等也 該公等也

一 該公等也 該公等也

一 該公等也 該公等也

一 該公等也 該公等也

一 該公等也 該公等也

一 該公等也 該公等也

一 該公等也 該公等也

一 該公等也 該公等也

一 該公等也 該公等也

一 該公等也 該公等也

一 該公等也 該公等也

一 該公等也 該公等也

一 該公等也 該公等也

Handwritten signature or name at the bottom left.

Handwritten signature or name at the bottom left.

Handwritten signature or name at the bottom left.

Handwritten signature or name at the bottom left.

Handwritten signature or name at the bottom left.

Handwritten signature or name at the bottom left.

Handwritten signature or name at the bottom left.

Handwritten signature or name at the bottom left.

Handwritten signature or name at the bottom left.

Handwritten signature or name at the bottom left.

二日

三 夫亦身錢也(可)

一 水名云々(小田原) 一 幸門(足利)

一 一書(信) 一 文(三) 一 一(書) 一 一(書)

一 格(書) 一 一(書) 一 一(書)

一 河(名) 一 一(書) 一 一(書) 一 一(書)

一 沖(名) 一 一(書) 一 一(書) 一 一(書)

一 一(書) 一 一(書) 一 一(書) 一 一(書)

一 一(書) 一 一(書) 一 一(書) 一 一(書)

一 一(書)

一 一(書) 一 一(書) 一 一(書) 一 一(書)

一 一(書) 一 一(書) 一 一(書) 一 一(書)

一 一(書) 一 一(書) 一 一(書) 一 一(書)

一 一(書) 一 一(書) 一 一(書) 一 一(書)

一 一(書) 一 一(書) 一 一(書) 一 一(書)

一 一(書) 一 一(書) 一 一(書) 一 一(書)

一 一(書) 一 一(書) 一 一(書) 一 一(書)

一 一(書) 一 一(書) 一 一(書) 一 一(書)

五

Handwritten text at the top right, possibly a header or title, including the characters "天" and "地".

126  
29

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several lines of dense characters.

Handwritten text on the left side of the page, appearing as a separate section or entry.

Handwritten text on the left side, continuing the cursive script.

Handwritten text on the left side, continuing the cursive script.

Handwritten text on the left side, continuing the cursive script.

Handwritten text on the left side, continuing the cursive script.

Small handwritten mark or characters at the bottom left corner.

四ノ巻

一 吉里丹甲の儀の清田を所巻田を新儀  
 此中節義りん事記の二つは所巻田の  
 懸隔ありし中節を又改め合中一節を  
 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 馬石力出の事記の事記の事記の事記  
 如く正節の事記の事記の事記の事記  
 ことこの事記の事記の事記の事記  
 略記の事記の事記の事記の事記

此所儀岸田の事記の事記の事記の事記

一 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 二 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 三 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 四 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 五 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 六 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 七 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 八 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 九 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 十 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記

一 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 二 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 三 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 四 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 五 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 六 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 七 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 八 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 九 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 十 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記

一 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 二 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 三 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 四 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 五 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 六 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 七 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 八 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 九 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 十 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記

一 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 二 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 三 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 四 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 五 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 六 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 七 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 八 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 九 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 十 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記

一 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 二 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 三 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 四 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 五 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 六 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 七 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 八 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 九 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記  
 十 此所儀岸田の事記の事記の事記の事記

多

一 望一 爲方、 諸勅、 奉 勅、 爲  
一 三 勅、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方

一 侍多、 有 仰、 沈 川、 山、 上、 三、 奉、 同、 爲、 勅、 爲  
一 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方

一 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方  
一 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方

一 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方

一 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方

一 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方

一 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方

一 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方

一 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方、 爲方



Handwritten signature or name at the top right of the page.

126  
32

六相... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

... (Vertical handwritten text on the right side of the page)

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

一 寄前出... 南...

一 能走... 金...

一 自事... 延...

一 言... 酒...

一 合... 延...

一 言... 延...

十

一 言... 延...

一 言... 延...

217721

一 賜一多事

一 今宜の御り申言

十言

一 宝生法然の事

一 法然の心のお前同

一 法一

十言

一 信重下あり

一 法然の御り申言

一 法然の御り申言

一 法然の御り申言

一 法然の御り申言

一 法然の御り申言

十言

一 法然の御り申言

一 法然の御り申言

一 法然の御り申言

法然の御り申言

三  
自多持之類 宜知其人 誠心 亮顯 心  
固以久矣 正其 誠心 宜  
也

与主之平 西北 上 誠心 誠心 誠心  
忠不 誠心 誠心 誠心

# 吉

2023.05.12

一 博一 誠心 誠心 誠心  
一 翁油 同 誠心 誠心 誠心  
一 誠心 誠心 誠心 誠心 誠心

一 仁 誠心 誠心 誠心 誠心 誠心  
海浦 誠心 誠心 誠心 誠心 誠心

一 誠心 誠心 誠心 誠心 誠心  
誠心 誠心 誠心 誠心 誠心

一 誠心 誠心 誠心 誠心 誠心  
誠心 誠心 誠心 誠心 誠心

一 誠心 誠心 誠心 誠心 誠心  
誠心 誠心 誠心 誠心 誠心

誠心 誠心 誠心 誠心 誠心

三、  
...

一、  
...

二、  
...

三、  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

十部 126 37

一 此後 臣等 謹言 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此

十月九日 庚申 時正

一 此後 奉 旨 欽 此 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此

一 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此

一 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此

一 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此

一 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此

一 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此

一 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此

一 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此

一 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此

一 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此 奉 命 宣 讀 奉 旨 欽 此

44-111

女

126  
38

今人里遊我 武 多力ナリ

先生 弟の心算

此は以人太田也 九石十合云

取人太田ノ様ナリ

此は石向一石太田ノ様也 御書之様也 十六日書

二石太田ノ様也

此は石向一石太田ノ様也 御書之様也 十六日書

此は石向一石太田ノ様也 御書之様也 十六日書

在島ナリ

石向一石太田ノ様也

一 劫破三十廿 奉月 今 二 行 一 紙切下

此は石向一石太田ノ様也 御書之様也 十六日書

一 下 二 三 四 五

一 此は石向一石太田ノ様也 御書之様也 十六日書

二五

Handwritten notes at the top right, including the number 12639.

義部子長少師甚念 諸君の御心  
申の心通は、有少節先此を  
一、此の忠告、中下作下し御  
心通の御心

正徳甲子二月十日 諸君の御心  
日誌刊

皇前より奉

一、此の御心、中下作下し御  
心通の御心

皇前より奉 諸君の御心

一、此の御心、中下作下し御  
心通の御心

一、此の御心、中下作下し御  
心通の御心

一、此の御心、中下作下し御  
心通の御心

Handwritten signature or seal at the bottom left.



一石守才集(一)の附録

三月十日

一石守才集(一)の附録

三月十日

一石守才集(一)の附録

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

一石守才集(一)の附録

三月十日

一石守才集(一)の附録

一石守才集(一)の附録

一石守才集(一)の附録

一石守才集(一)の附録

一石守才集(一)の附録

一石守才集(一)の附録

石向中より、山崎の寺に遊び、  
山崎の寺に遊び、  
山崎の寺に遊び、

一 赤松の法苑を妙通寺に、  
赤松の法苑を妙通寺に、

鳥山、柳葉に津丸打、  
鳥山、柳葉に津丸打、

武術、遠征に津丸打、  
武術、遠征に津丸打、

武田、法性寺、津丸打、  
武田、法性寺、津丸打、

廿二日別録

一 川口寺、行方、  
川口寺、行方、

一 北條氏、寺、行方、  
北條氏、寺、行方、

廿三日

一 石川、寺、行方、  
石川、寺、行方、

一 寺、行方、  
寺、行方、

一 寺、行方、  
寺、行方、

一 寺、行方、  
寺、行方、

一 寺、行方、  
寺、行方、

一 寺、行方、  
寺、行方、

一 寺、行方、  
寺、行方、

一 寺、行方、  
寺、行方、

たむ

126  
42

歌

あはれなるものなるを思ふに  
おのころの作はまはるるに  
来れをたのむに  
不登く

廿四

一 海に舟をたはるる  
一 山道に舟をたはるる  
一 舟に舟をたはるる  
一 舟に舟をたはるる

一 舟に舟をたはるる  
一 舟に舟をたはるる  
一 舟に舟をたはるる  
一 舟に舟をたはるる

廿五

一 舟に舟をたはるる  
一 舟に舟をたはるる

五言詩の神妙處を因るに下は平なり  
 為る情事不似れし以て所人の思ふ事  
 一 三言を本句の中の一語に以て三言  
 二 三言の語句を本句の二語に以て三言  
 三 三言の語句を本句の一語に以て三言

### 廿言

一 是等五言の二の如き詩人 四言詩の  
 末句は平なり 五言詩の末句は仄なり  
 五言詩の末句は平なり

一 昔田法物ト入ル言多 其余平  
 五言の向文子其の如き詩人の  
 五言の末句は平なり 五言の末句は仄なり  
 五言の末句は平なり 五言の末句は仄なり  
 五言の末句は平なり 五言の末句は仄なり  
 五言の末句は平なり 五言の末句は仄なり  
 五言の末句は平なり 五言の末句は仄なり  
 五言の末句は平なり 五言の末句は仄なり  
 五言の末句は平なり 五言の末句は仄なり  
 五言の末句は平なり 五言の末句は仄なり  
 五言の末句は平なり 五言の末句は仄なり

44-1

只此一事乃不...  
何共下...  
同作...

一 后平...  
...  
...

一 后平...  
...  
...

廿五

一 考...  
...

三 考...  
...

十 考...  
...

一 考...  
...

相...  
...

...

...

...

...

但亦多人の別言又云 兼て人の別言

今口書入  
兼て人の別言

一 湖中之五湖の二つは昔元が盛成州に所修の者  
別名の子孫身の人と云ふなり一福徳下守人  
十人入法也湖の二言知之なり

一 昔元の大庭の藤原氏の所修の者名曰  
高徳傳信家なり法に及有河宮法  
大徳知事

一 比向年々も同書修徳の文の通修徳の事  
高徳丹方の中書なり

廿八日

一 専重の如の状の小書  
一 兼て人の別言

一 二江鏡也此書は山守なり

一 浮来林寺の持心寺の修徳

一 万徳寺の修徳林上元也  
兼て人の別言

一 十平の修徳元徳の修徳也

廿八日

悔

一 府司以若君... 此... 悔  
一 糧... 悔  
一 竹... 悔

一 善... 悔  
一 金... 悔  
一 心... 悔  
一 宜... 悔  
一 播... 悔

一 高... 悔  
一 程... 悔  
一 三... 悔  
一 布... 悔  
一 高... 悔

一 宜... 悔  
一 宜... 悔  
一 宜... 悔

Handwritten scribbles and faint text at the bottom left of the page.

三月一日原

一 浦上仁清家所藏新書、列書卷、  
清後、下書三、四、五、六、

一 浦上仁清、自其家所藏、  
西國、好古、之書、  
其後、不、杖、持、之、

一 千是、  
即、之、

一 今、  
即、之、

一 是、  
即、之、

一 是、  
即、之、

一 別、  
即、之、

一 是、  
即、之、

一 浦、  
即、之、

一 是、  
即、之、

14-15



一 北条義時より河内守に命じて  
一 河内守に命じて河内古郡を  
一 河内守に命じて河内古郡を

一 北条義時

一 北条義時より河内守に命じて  
一 河内守に命じて河内古郡を

一 北条義時より河内守に命じて

一 北条義時

一 北条義時より河内守に命じて

一 北条義時

一 北条義時より河内守に命じて

一 北条義時

一 北条義時より河内守に命じて

一 北条義時

一 北条義時より河内守に命じて

一 北条義時

甲

一 漢書之今出之新始多之也 亦書每之  
二 孝子月

一 孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

一 孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

一 孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

孝子月 孝子月 孝子月 孝子月

手書

一 諸君に事なく、其年迄に、  
諸君に事なく、其年迄に、

一 自ら書かれた油草、  
自ら書かれた油草、

一 諸君に事なく、  
諸君に事なく、

一 諸君に事なく、  
諸君に事なく、

音

一 諸君に事なく、  
諸君に事なく、

一 諸君に事なく、  
諸君に事なく、

小書

一 諸君に事なく、  
諸君に事なく、

一 諸君に事なく、  
諸君に事なく、

一 諸君に事なく、  
諸君に事なく、

一 諸君に事なく、  
諸君に事なく、

一 諸君に事なく、  
諸君に事なく、

一 諸君に事なく、  
諸君に事なく、

一 諸君に事なく、  
諸君に事なく、

Handwritten mark

一 東考初途を尋ねて蘇山

一 河内に入り今右河内境に中三河

一 子河内をいざを越ゆる上右を越

一 相河内也年以て其河内経る

一 此を以て経る

一 此を以て経る

一 此を以て経る

一 此を以て経る

古

一 海一を以て

一 此を以て

一 此を以て

一 此を以て

一 此を以て

一 此を以て

一 此を以て

一 此を以て



言定年地出

山口 豊平

一 田一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 田原武蔵守神地 皇孫若名之月  
瑞穂 文中 以 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂  
早 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂

一 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂  
一 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂  
一 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂

一 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂  
一 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂  
一 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂  
一 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂  
一 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂  
一 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂  
一 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂  
一 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂 瑞穂

皇孫若名之月

Handwritten text on the right side of the top page, including a vertical column of characters and a small number '126 55'.

126 55

Handwritten text in the middle of the top page, possibly a signature or a specific note.

一 養... (Vertical column of handwritten text on the top page)

一 翁... (Vertical column of handwritten text on the top page)

Handwritten text in the middle of the bottom page, continuing the vertical columns.

Handwritten text on the bottom page, possibly a signature or a specific note.

Handwritten text on the bottom page, continuing the vertical columns.

信貴山... (Vertical column of handwritten text on the left side of the bottom page)

Handwritten characters at the bottom left corner of the page.



皇命 御覽 之 旨  
御覽 之 旨  
御覽 之 旨

一 御覽 之 旨  
十年八月二十日

身 之 旨

一 御覽 之 旨  
御覽 之 旨

一 御覽 之 旨  
御覽 之 旨

一 御覽 之 旨  
御覽 之 旨

一 御覽 之 旨  
御覽 之 旨

一 御覽 之 旨  
御覽 之 旨

一 御覽 之 旨  
御覽 之 旨

十 字 之 旨

信 之 旨

一 坂由正所出の紙手十八人毎

社中の自奉仕の御由御免

之計金取立申す方ハ一人

不取引出有リカ各之ニ五

分申すニ高安公ニ忠

之放一上も御各御免

御免之御免也

御免也

一 湯田の御免御免也

一 寺大守御免御免也

御免也

御免也

御免也

御免也

御免也

御免也

一 御免也

御免

御書

126  
58

御書

御書

御書

十

御書

御書

御書

御書

御書

御書

廿

御書

御書

御書

御書

御書

御書

御書

御書

二

一 中江の文殊寺 湖島五ノ一 奥の山寺久保  
日者此札持申 安東北院希久保の御中  
信長様 御院の遠慮の事

一 奥の山寺 今より五河の御中

廿五

一 三河の山寺 之情の御中 別本之御中  
信長様 御院の遠慮の事  
中江の山寺 之情の御中 別本之御中  
信長様 御院の遠慮の事

一 奥の山寺 之情の御中 別本之御中  
信長様 御院の遠慮の事

一 奥の山寺 之情の御中 別本之御中  
信長様 御院の遠慮の事

一 奥の山寺 之情の御中 別本之御中  
信長様 御院の遠慮の事

一 奥の山寺 之情の御中 別本之御中  
信長様 御院の遠慮の事

一 奥の山寺 之情の御中 別本之御中  
信長様 御院の遠慮の事

のり

天保... 五ノハノ...

升二四... 改... 精... 考...

精... 考...

精... 考...

升三... 考... 考...

考... 考...

今... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

一 考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

考... 考... 考...

わ... 九

去りて其の如くは...

一 此の如くは...

一 宝殿二作...

一 中嘉...

一 此の如く...

一 此の如く...

廿三

一 三...

一 別...

法...

廿四

一 此の如く...

一 此の如く...

一 別...

一 此の如く...

一 此の如く...

一 此の如く...

一 此の如く...

Handwritten title or header text at the top right of the page.

126  
62

一 厚方より厚方下

茶  
茶

一 油三三三三三

一 船三三三三三

一 中門書 書言 手交 出以 出以 出以

一 細川 廿五 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上

一 明也 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室

一 明也 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室

一 明也 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室

一 明也 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室

一 明也 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室

一 明也 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室

一 明也 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室

一 明也 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室

一 明也 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室

一 明也 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室

一 明也 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室

一 明也 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室

126  
63

廿日

一 古事記卷第十 足名部 足名部 足名部 足名部

作字 皇極經世一書 皇極經世一書 皇極經世一書

分修 皇極經世一書 皇極經世一書 皇極經世一書

乃 皇極經世一書 皇極經世一書 皇極經世一書

皇極經世一書 皇極經世一書 皇極經世一書

一 皇極經世一書 皇極經世一書 皇極經世一書

皇極經世一書 皇極經世一書 皇極經世一書

皇極經世一書 皇極經世一書 皇極經世一書

皇極經世一書 皇極經世一書 皇極經世一書

皇極經世一書 皇極經世一書 皇極經世一書

一 皇極經世一書 皇極經世一書 皇極經世一書

廿日

廿日

字二



126  
64

一 皇太子降臨之時  
後行一萬石之  
之事

皇太子

降臨

後行

126  
64

126  
65  
126  
65

カスノ年改ハ年創身

ニニモリニニニカセニカノハ年改

下冠

トノ考田十二ヒラウカ父ト年改

外

河是ノ雲歩

是ノ雲歩

河ノ雲

ハセサリナカニニニカノハ年改

高木ニニニカノハ年改

三十一

12-6  
64

大塚左衛門猪

伊勢守備中

河本屋市

河下屋市

新田屋市

佐久間屋市

吾々のキ 三十一日 三十一日

三十一日 三十一日

月夜中 相方の三十一日 三十一日

かきかき 三十一日 三十一日

ハクハク 三十一日 三十一日

三十一日 三十一日

手廻

Handwritten signature or name in cursive script.

Handwritten signature or name in cursive script.

1860

1860

1860

1860

1860

1860

1860

1860

1860

1860

1860

1860

1860

1860

1860

1860

1860

1860